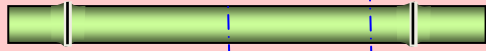
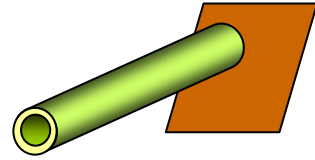


たけぶえ 竹笛のつくりかた (呼子笛)

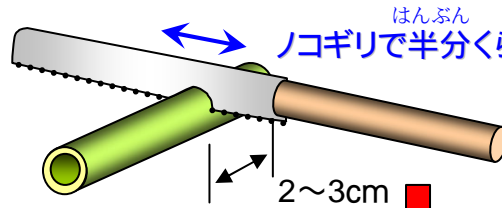
ここが、スタート!



たけ あいだ てきとう なが き
竹のフシの間を適当な長さに切りとる。



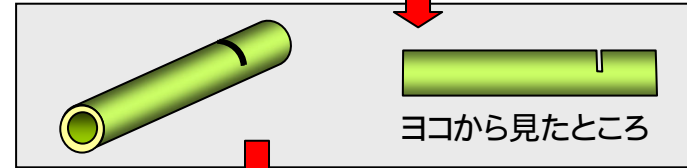
かど まる
角はサンドペーパーで丸めておく。
中のゴミもブラシできれいにしておく。



はんぶん き
ノコギリで半分くらいまで切りこむ。

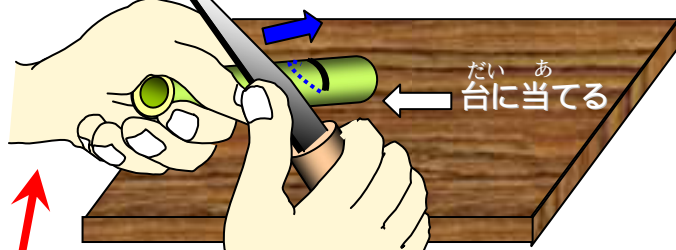
は ほう つか
刃のねもとの方を使う
ちから かる うご
力をいれず、軽く動かす。

2~3cm



ヨコから見たところ

ナイフで、ななめにけずる。

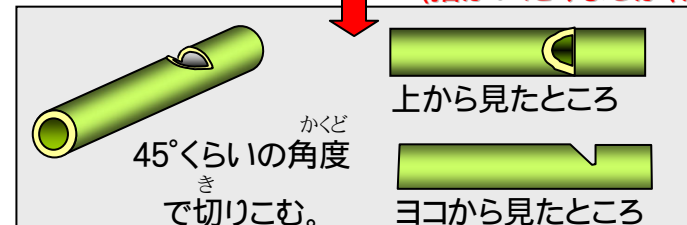


だい あ
台に当てる

て
手は、かならず
は うしろ
ナイフの刃より後に!

せ おやゆび ちから
ナイフの背を親指でおすと、力が入る。

ゆび
(指がいたくなるが、がまん!)

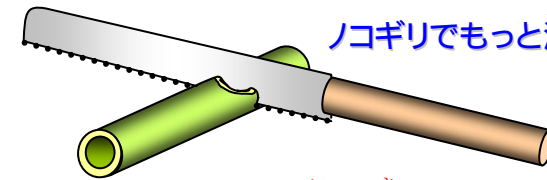


かど
45°くらいの角度
き
で切りこむ。

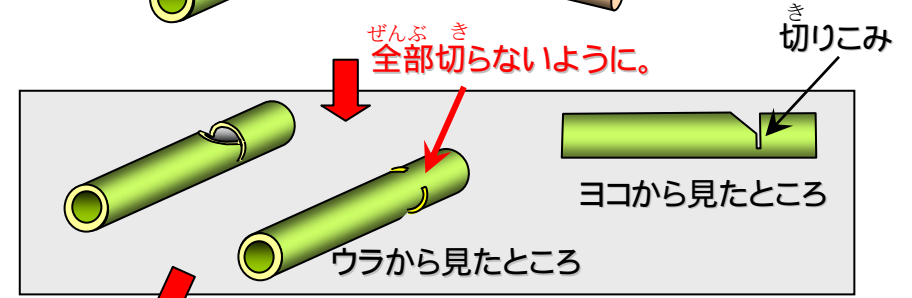
上から見たところ

ヨコから見たところ

よぶ こ ぶえ
(呼子笛)



ふか き
ノコギリでもっと深く切りこむ。



ぜんぶ き
全部切らないように。

き
切りこみ

ヨコから見たところ

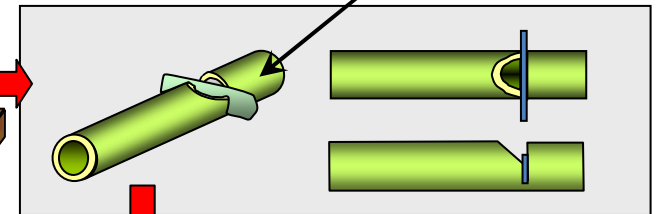
ウラから見たところ

すこ ふと たけ
少し太い竹をけずって、小さなうすい板(空気どめ)を作る。

くつき き
空気どめを、切りこみにさしこむ。



つか
ナイフの使い方に、
な
慣れたかな?

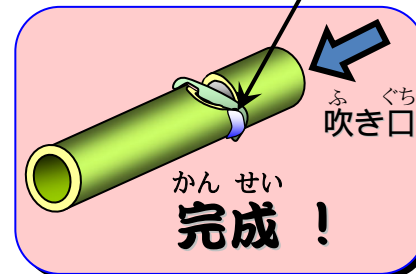


くつき はば
空気どめの幅を
かえて、スキマを
ちょうせつ
調節する。よく鳴
るところ
る所をさがそう。

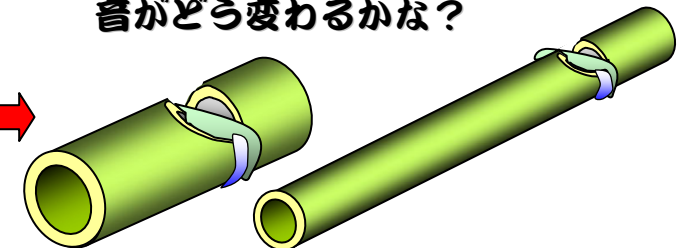
- × 下にもスキマがある。
- × スキマが小さすぎる。
- スキマが半分より
ちよっとせまいくらい。
- × スキマが大きすぎる。

くつき と
空気どめをボンドで止めて、
かわ よぶん ところ き お
乾いたら余分な所を切り落とす。

なが ふと
長さや太さのちがうものも作ってみよう。
おと か
音がどう変わるかな?



かん せい
完成!

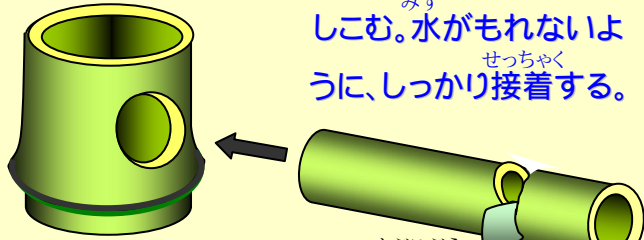


いろいろ たけぶえ
色々な竹笛のつくりかた

みず ぶえ
水笛

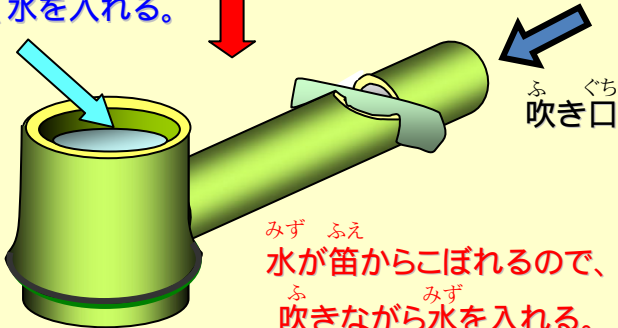
そこ ふと たけ
 底にフシのある太い竹

あな あ よぶこぶえ
 孔を開けて、呼子笛をさ
 みす
 しこむ。水がもれないよ
 せつちやく
 うに、しっかり接着する。



よぶこぶえ
 つくった呼子笛

みず い
 ここに、水を入れる。



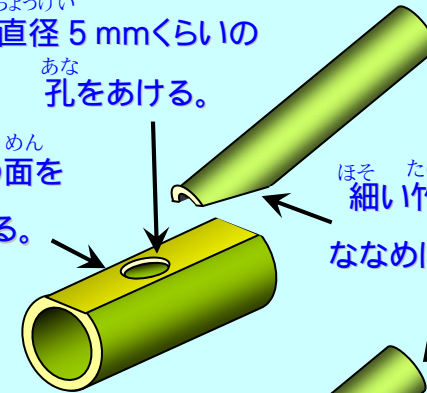
みず ぶえ
 水が笛からこぼれるので、
 ふ
 吹きながら水を入れる。

ぶえ
ウグイス 笛

ちよっけい
 直径 5 mm くらいの
 あな
 孔をあける。

ふと たけ めん
 太い竹の上の面を
 たいら
 平らにけずる。

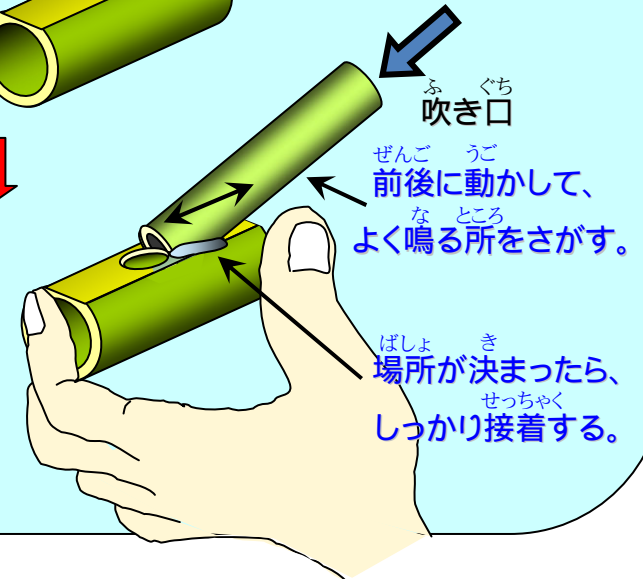
ほそ たけ
 細い竹のはじを、
 ななめにカットする。



ふ ぐち
 吹き口

ぜんご うご
 前後に動かして、
 な ところ
 よく鳴る所をさがす。

ゆび
 指でふさいだり、
 あ
 開けたりして
 ふ
 吹いてみる。

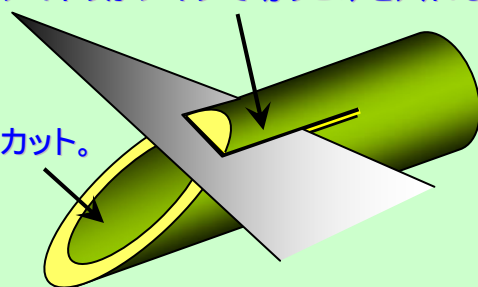


ばしょ き
 場所が決まったら、
 せつちやく
 しっかり接着する。

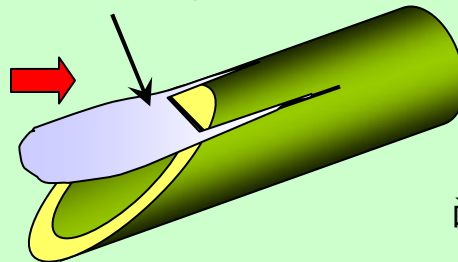
ぶえ
ブーブー 笛

き
 ノコギリかナイフで切りこみを入れる。

ななめにカット。



たけ は
 竹の葉(うすいプラでもよい)をさし込む。



ほきよう
 テープをまいて補強する。

ふ ぐち
 吹き口

すこ したむき ま
 少し下向きに曲げる。

